

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

第4期 管理職養成学校ニュース



2024年10月21日発行 (No.2) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

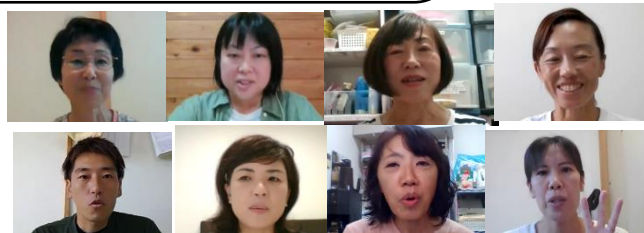
～第1講座スタートしました！～

9月19日(木)いよいよ第1講座が始まりました。緊張気味の受講生の皆さん、大きな声を出して緊張をほぐすことと、パソコン環境の確認のため、まずは養成学校の定番ともなったアイスブレイクからスタートしました。今回のアイスブレイクのテーマは「あなたの推し」です。皆さんテキパキと「こどもです」「韓流です」「スポーツです」と答えてくれました。多かったのは食べ物と飲み物でした。すっかり緊張もほぐれたところで、講座が始まりました。まず今回の講座の4つのねらい

- ① 管理職に求められるものを講演とグループワークを通じて共有する
- ② 自分自身を客観的に分析し、現職場や法人の中の管理職としてどのような役割を担っているか、課題は何かを認識し、どう変化していきたいかを獲得する
- ③ 管理職として必要である「わかりやすく伝える」「理解を促す」トレーニングとする
- ④ 社会福祉経営全国会議の会員である管理職の、地域、法人、分野を超えた交流の場とする



上記のねらいをみんなで確認し、いよいよ初めてのプレゼンテーションが始まりました。テーマは「管理職としての私を語る」です。

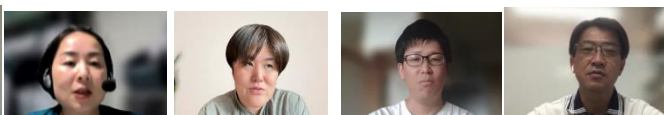


自分のことを客観的に分析する、管理職の果たす役割や課題、自分の強み・弱みを分析し、どう変わっていきたいのかを織り交ぜて原稿を見ないで3分で語ります。受講生の皆さんは、開校式からの約1か月という期間に各ゼミの皆さんと何度も自主ゼミを行い、また推薦者や同僚の皆さんの前で発表の予行練習を行った成果もあり、ほとんどの皆さんが3分間で行うことができました。自分と向き合い、分析し、成長への糸口が見つけられと思われるプレゼンテーションとなりました。

講師の垣内先生から、「皆さん『理想』がたくさん出てきましたね。プレゼンの評価したくてもできないな～」から始まったプレゼン評価。ご自身の学生時代、大学の教授時代の経験を振り返られて、「すべて自分が解決するんだ！」と思い込まない事、特に福祉職場は職員の関係性が濃い職場。深掘しすぎないで、すぐに解決ではなく「余裕」を持たせてあげてほしい。職員が「聞いて」と来てくれることが管理職として意味のあることです。解決はできないかもしれないけれど、まず話を聞くこと。



「聞くこと」は、大変エネルギーがいることです。「職員」やこの学校での「ゼミの仲間を」大切にがんばってほしいと激励をいただきました。





午後からは、ゼミの進捗状況を報告してもらった後、「福祉経営の管理職に求められること～民主的経営管理試論～」というテーマで、明星大学名誉教授、社会福祉法人多摩福祉会理事、社会福祉経営全国会議理事の垣内国光先生の講義を受けました。垣内先生はまず、自法人の経営危機についての話を皮切りに、体験したことを交えながらお話ししてくれました。社会福祉法人は誰のものなのか？…それは理事長のものでも職員のものでもなく「みんなのもの」「地域住民のもの」と力強く語られま

した。社会福祉の公益性を象徴した言葉だと感じます。

「民主的経営について」や管理者のあるべき姿にも言及されました。善意と情熱だけでなく、科学的根拠をもった冷静な判断が必要で、そのために私たちは「クールヘッド&ウォームハート」で仕事をする必要性を話されました。また管理監督者に必要な能力は何か…「組織のパフォーマンスを最大化する人」「自分の頭で考える人」「提案する人、揺り動かす人」「積極的に外に出る人、出す人」「仕事を振る人」「器量のある人(姿勢)」「後継者育成ができる人」という7点を挙げられました。講義の最後には、尾崎新氏の「揺らぐことのできる力～ゆらぎと社会福祉実践」の紹介をされ、ミッションをもち、職員に誠実であれば揺らいでもいいんだよ、という話をしていただき、短時間ではありましたが、受講生の方との質疑応答タイムも設けていただき理解が深まり、「半年間頑張れる気持ちが出てくる」第1講座となりました。大変な管理職ではあるけど揺らぎながらでもいいんだと思える締めくくりとなりました。講義全般、垣内先生の温かいお人柄と保育園児の素敵な口頭詩も紹介していただき楽しく学ぶ時間となりました。

Ⅲ. なぜ民主法人がなぜ必要なのか

1. 民主法人の相対的地盤沈下
 - ・もっとも社福法人らしい法人が私たち
 - ・実は、民主法人と言われているところでも…
 - ・保守化懸念
2. 民主経営とは
 - ・そもそも福祉とは
 - ・全国会議と民医連の綱領
 - ・民主経営いくつかの指標
 - ・法人経営の王道を歩む

テキストに加えてオリジナルパワーポイントも使われて詳しい講義となりました。

Ⅳ. 管理監督者としての能力は獲得できる

1. 善意と情熱に頼る経営から科学的民主的経営へ
 - ・クールヘッド&ウォームハート
2. 法人の民主的統治 (ガバナンス)
 - ・民主的統治なくして民主的経営なし
 - ・本部実務、管理業務のポイント
3. 管理者に必要なものの見方・考え方・感情制御
 - ・正しいか正しくないかは重要だが
 - ・管理者が喜ぶ姿を見る
 - ・怒りの感情を制御できないとき
 - ・視野を拡げ深く思考する



講義のあとは、プレゼンテーションの評価と講義を聞いて「管理職に求められるもの」をどう理解したかについてグループワークをしました。自分のプレゼンテーションの評価と他の方のプレゼンを聞くことで参考になった点、など今後のプレゼンについて話し合いました。垣内先生もグループワークでは各ゼミに入っていたいただき管理職像についてどうあるべきかを深めることができました。「クールヘッド&ウォームハート」「職員に誠実であれば揺らいでもいいんだよ」が受講生の皆さんに特に響いた様子でした。

講座の最後は、第2講座に向けての課題に加え、第3講座と第4講座の説明もあり、ホッと一息つく間もなく次の講座に向けて走り出しました。例年は時間が押して時間が設けられ無かったのですが、今回は時間通りに進み約20分のゼミ交流もでき、仲間とともに走っていこうとみんなで確認しあい1日を終わりました。まだまだ続く養成学校、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。

第2回講座は、10月24日(木) 講師は社会福祉経営全国会議会長の茨木範宏氏です。
テーマは「社会福祉法人の在り方を学ぶ」です。

